

丸の内から始まるオープンイノベーション ～3×3Lab Futureのご紹介～



2019.9.3
一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会
(エコツツェリア協会)

■ 「大丸有」 (だいまるゆう) とは？

「**大**手町」「**丸**の内」「**有**楽町」 120haエリアの総称の造語

1. 建物棟数：**101棟** (解体・建設中を含む)
2. 就業人口：**28万人** (一部、大丸有地区以外も含む)
3. 事業所数：**約4,300事業所**
4. 上場企業本社数：**約97社/2,550社(東証一部、二部上場)**
5. これら企業の連結売上高：**約129.9兆円/日本の総売上高の約8.85%**



■大丸有ならではの「公民協調」のまちづくり



再開発
公民合意形成

大丸有
まちづくり懇談会
1996年～



総合的なまちづくりの推進

ハード・ソフト両面でのまちづくり

再開発
民間共通目標

(一般社団法人)
大丸有まちづくり
協議会
1988年～

街づくり運営



NPO 大丸有
協会
2002年

一般社団法人
協会
2007年

CSV創出



環境共生

■エコツツエリア協会のあゆみ



実現課題



エコツツエリア協会



活動拠点



新丸ビル10F(130坪)
2007.5.14 - 2015.10.31



富士ビル3F(380坪)
2014.1.17 - 2014.8.31

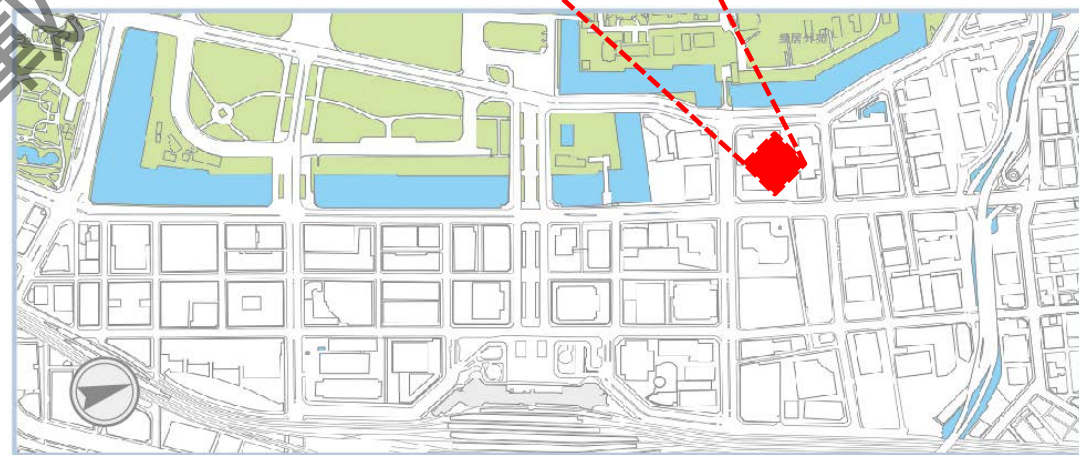


日本ビル6F (260坪)
2014.10.30 - 2016.3.3

■ 3×3Lab Futureの場所：大手門タワー・JXビル（A棟）



- ・住所：千代田区大手町1-1-2
- ・主要用途：事務所・店舗・駐車場など
- ・敷地面積：約6,900m²
- ・延床面積：約108,000m²
- ・階数：地下5階、地上22階、塔屋2階
- ・建物高さ：約100m



■ 施設規模 と 都市再生特区貢献機能

(1) 施設規模

- ・ 設置階：1階
- ・ 床面積：約820.88㎡(約248.32坪)
- ・ 階高：5.2m
- ・ 天井高：2.85m (仮想天井高さ)



(2) 施設の位置付け

○主な貢献項目

- ・ 国際ビジネスセンターの機能強化に向けた業務支援施設

①交流・啓発機能、②ラボラトリー機能、③ショーケース機能

○その他の項目

- ・ 良好な都市環境の再構築
 - 皇居外苑濠の水質改善に資する**浄化・貯留施設の整備**
 - 緑豊かな**コミュニティ広場(2,800㎡)**との連携

- ・ 高度防災都市づくりに向けた取組み
 - **帰宅困難者支援機能**

■ゾーニング

国内外の企業や人材が様々なテーマで幅広く交流し、ビジネスを創発するためのスペースです。次世代オフィス環境技術やこのエリア独自のさまざまな取り組みをご覧ください。

- ・個別冷暖房付オフィスデスク
- ・天井輻射空調
- ・ストレスチェック機能付椅子

・フォンブース

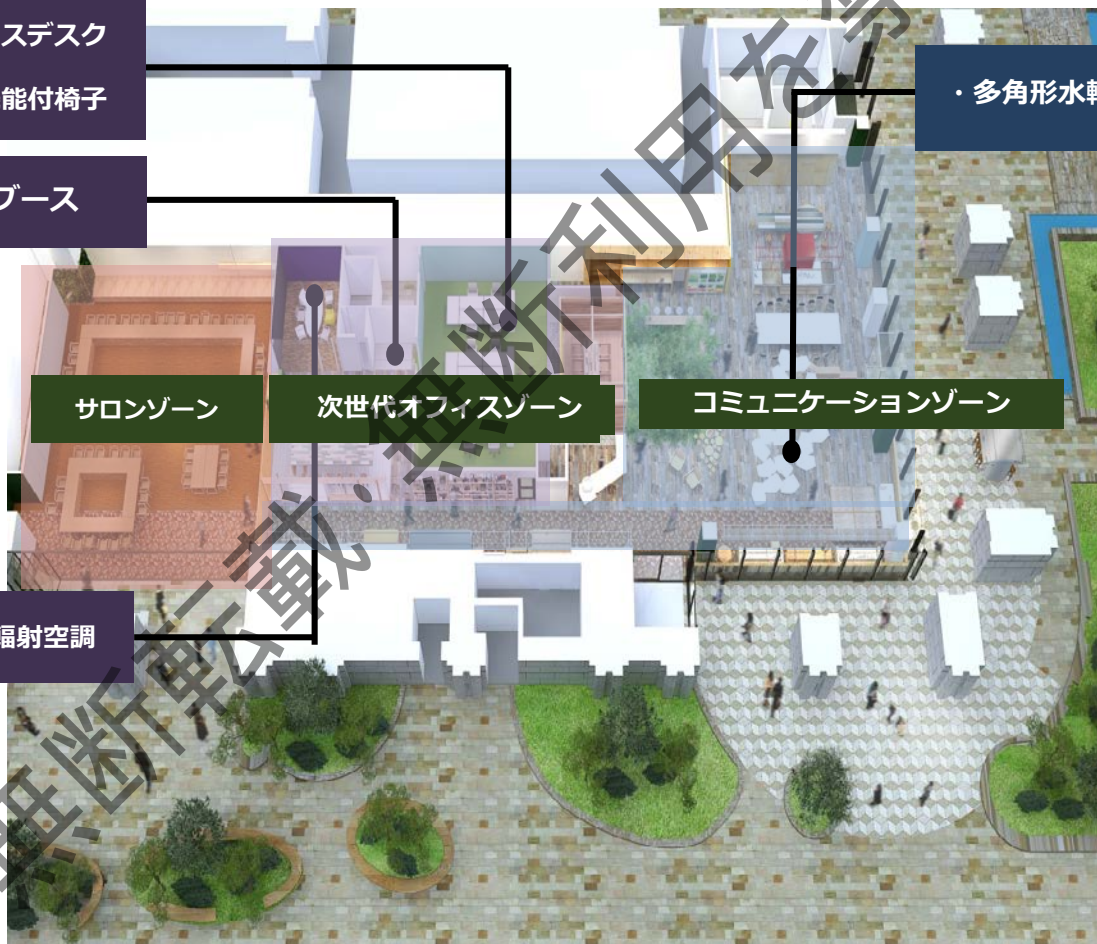
・多角形水輻射パネル

サロンゾーン

次世代オフィスゾーン

コミュニケーションゾーン

・照明機能付天井輻射空調



災害時には、帰宅困難者受入施設となり、災害情報等（NHK-TV）を提供



・サロン (約 160 名収容)



・フューチャーキッチン(キッチン機能付)



・コミュニケーションゾーン (約 130 名収容 + キッチン機能付)



・クリエイティブ屋台(屋外用)

3×3Lab Future ／大丸有エリア活動事例

無断転載・無断利用を禁ず

未来予測ブリーフィング



大企業ーベンチャー共創（中小機構、日本政策金融公庫）



女性リーダー



Why women make better leaders?

ギンカ・トーゲル
Ginka Torgel
小崎亜依子・林寿和 訳

女性が管理職 になったら 読む本

「キャリア」と
「自分らしさ」を
両立させる方法

実は、女性のほうが
良いリーダーになれる!

なのに、なぜ、できる女性は續かれるのか。
あなたの悩みや疑問に、
スイスのビジネススクールIMD教授が答える。

日本経済新聞出版社

セルフブランディング (パーソナルカラー)



チョップドサラダ (フードロス対策)



気仙沼メカジキ発表会

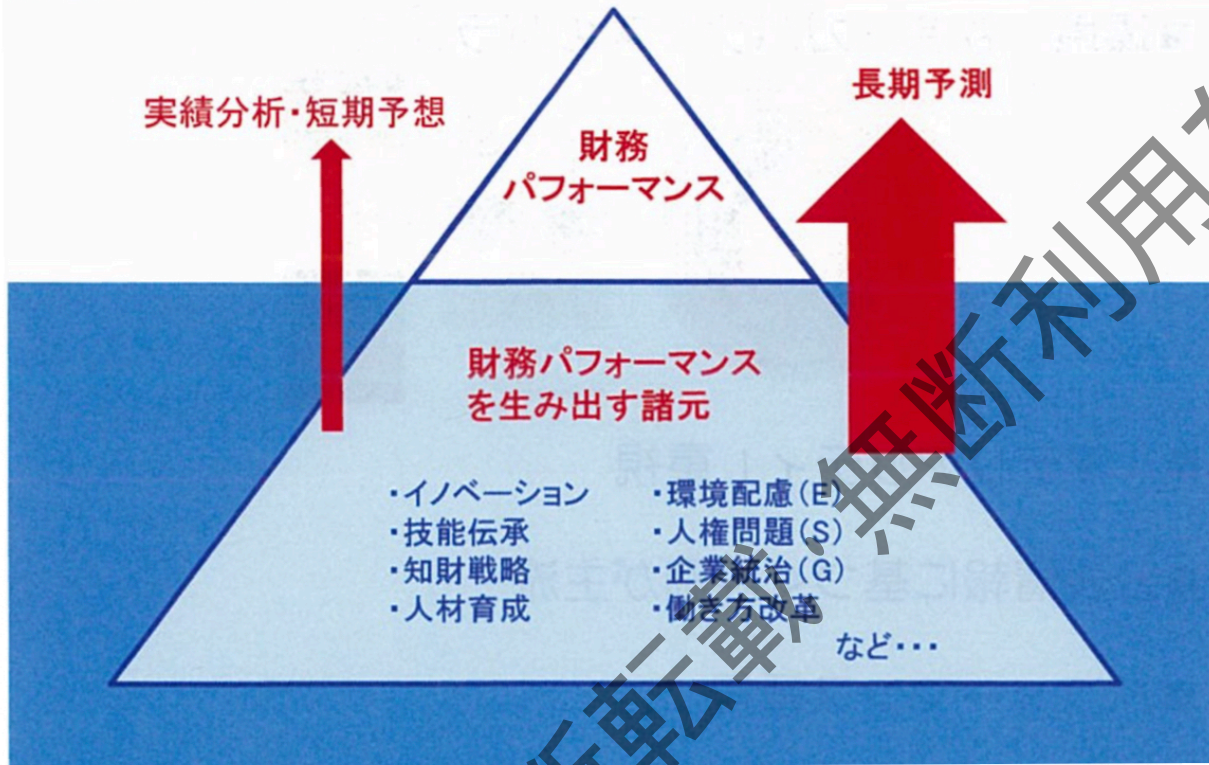


京都北山杉イベント（3回シリーズ）



ESG金融勉強会

財務パフォーマンスと非財務情報



■ コミュニティ形成活動

丸の内朝大学

環境負荷の低い朝型ライフスタイルを提唱し、普及を目的とした朝の出勤前時間を活用した市民大学。
2009年4月より実施中。

年間3学期（春・夏・秋）、各期20～30講座、年間受講者数：約2500名





■ コミュニティ形成活動

丸の内プラチナ大学

2019年度は、10コース(最大8日間)のプログラムを開催。

共通	DAY 1 オリエンテーション		2019.7.5 (金) 18:30-20:30
			場所: 3×3 Lab Future
	基調講演 プラチナ社会への道筋 丸の内プラチナ大学 学長: 小宮山宏	地球温暖化や資源枯渇、少子高齢化、格差問題など現代社会が抱える課題は多岐にわたる。しかし、今ここで正しい方向に舵を切れば、私たちは明るい未来に。その実現に向けた丸の内プラチナ大学への期待と可能性を伝えます。	
	パネルディスカッション オリエンテーション・ガイダンス	・パネラー 小宮山宏 松田智生 竹田知子 ・モデレーター 田口真司 選択コースの概要案内、講師紹介を行います	

丸の内プラチナ大学 学長 小宮山宏 (こみやまひろし)		2005年4月東京大学第28代総長に就任。2009年3月に総長退任後、同年4月に三菱総合研究所理事長、東京大学総長顧問に就任(2015年3月まで)。2010年8月24日、プラチナ構想ネットワークを発足し会長就任。
三菱総合研究所 理事長 プラチナ構想ネットワーク 会長 東京大学第28代総長		

パネラー 竹田知子 (たけだともこ)		株式会社阿蘇ファームランド 執行役員・社長室長 石川県出身。メーカー系ソフトウェア会社にてPG、SEを経て2009年より健康増進事業体「健康の森グループ」入社。主に官学連携、外部機関との渉外担当。

1 逆参勤交代コース【定員30名】

講師: 松田智生 講座数: 全3回(座学) 受講費: 12,000円(税別)
地域フィールドワーク受講料: 各30,000円(税別) ※注
(北海道土幌町・埼玉県秩父市・長崎県壱岐市)
※現地までの交通費は受講者自己負担。

2 アグリ・フードビジネスコース【定員20名】

講師: 中村正明 講座数: 全8回 受講費: 32,000円(税別)

3 繋がる観光創造コース【定員30名】

講師: 吉田淳一 講座数: 全6回 受講費: 24,000円(税別)

4 アートフルライフ・デザインコース【定員30名】

講師: 白井 清 講座数: 全8回 受講費: 32,000円(税別)

5 パラレルキャリアコース【定員30名】

講師: 塚本恭之 講座数: 全8回 受講費: 32,000円(税別)

6 SDGs 経営実践コース【定員30名】

講師: 笹谷秀光 講座数: 全6回 受講費: 24,000円(税別)

7 Social SHIFT テーブルコース【定員15名】

講師: 石井 綾 講座数: 全6回 受講費: 44,000円(税別)
※飲食費が含まれます。

8 シリコンバレーチャレンジコース【定員30名】

講師: 樹本博之 講座数: 全8回 受講費: 32,000円(税別)

9 宇宙ビジネスコース【定員30名】

講師: 斎藤紀男 講座数: 全8回 受講費: 32,000円(税別)

10 わたしブランディングコース【定員20名】女性限定

講師: 小崎亜依子 講座数: 全6回 受講費: 24,000円(税別)

<丸の内プラチナ大学> 逆参勤交代コース（岩手県八幡平市）



無断転載・無断利用を禁ず

■丸の内サマーキャンプ

大学生・大学院生向け : 8/14-16 (3日間)

高校生向け : 8/21-23 (3日間)



■ 『JA 大丸有』 をつくろう！ 構想

全国農業協同組合中央会、農林中央金庫、三菱地所株式会社、一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツツェリア協会）の4者で、2017年3月30日に連携協定を締結。大丸有楽町エリアにおいて、「食」及び「農」の分野で、新たな価値創造につながる仕組み・活動づくりを進めている。

◇ 大手町マルシェ×JA まるしえ

三菱地所グループが中心となって展開している加工品が中心の「大手町マルシェ」と、JA 全中が展開している生鮮品を取り扱う「JA まるしえ」とが一体となったマルシェ。就業者も企画から販売までに参加するなど、一緒に作り込んでいく新しい形を実施。



■ 丸の内ラジオ体操

大丸有エリアワーカーの健康促進プログラム



■ 丸の内ストリートパーク

丸の内仲通りを芝生が敷き詰める公園に！



他社、他エリアへの展開

無断転載・無断利用を禁ず

宮崎県との連携協定（2017年2月～）



人材育成、成長企業支援の共同推進および地域PR連携

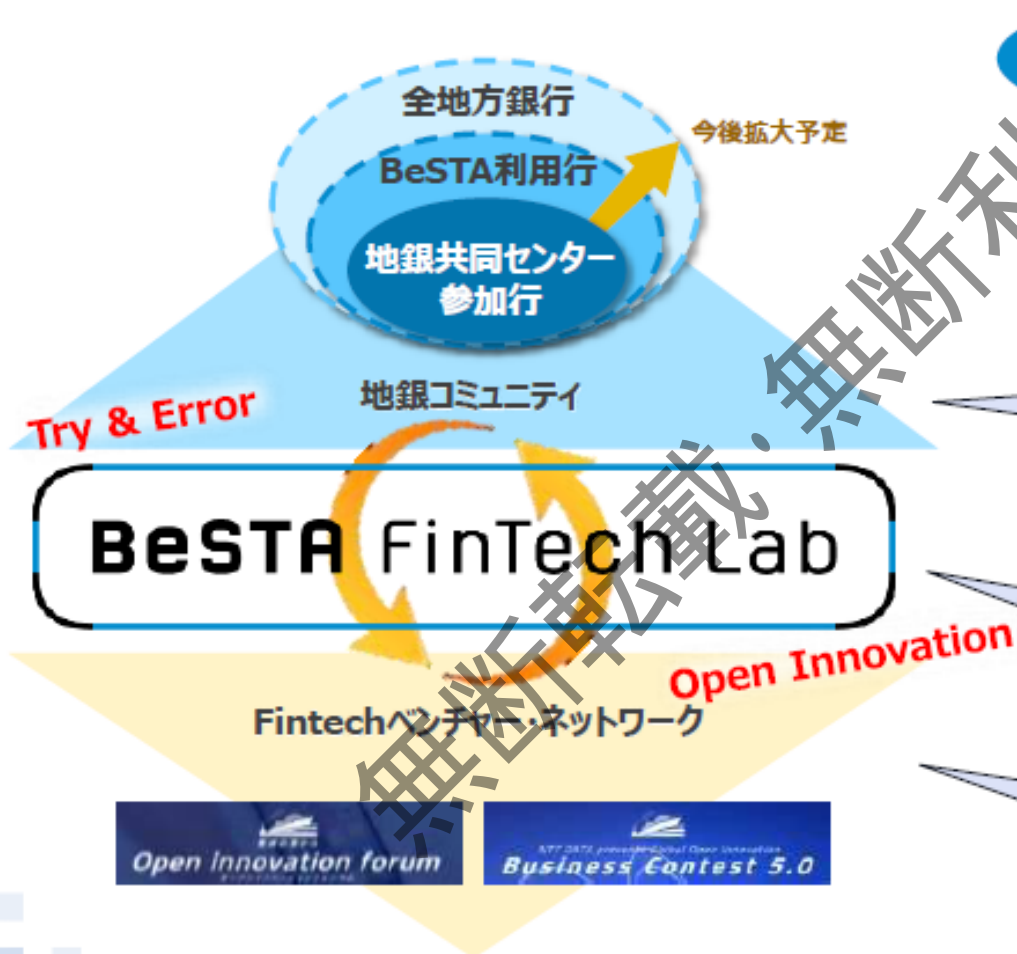
■みなとみらいフューチャーセンター検討会



■新施設立上げ、運営支援：NTTデータ様

BeSTA FinTech Labとは

BeSTA FinTech Labは地方銀行に寄り添い、地銀の抱えている課題の明確化から解決までをオープンイノベーションを通じて実現することを目指し、NTTデータが設立した組織です。



ロデザインに込められた思想

BeSTA FinTech Lab

- シンプルな直線と曲線のグラフィックエレメントは柔軟性や「白紙に線を引いていく」といったチャレンジ精神を表現。
- 直線と曲線が隙間なく繋がって線を構成してるさまはFinTech Labに集まる人々の調和や協調を表す。

BeSTA FinTech Labの特徴

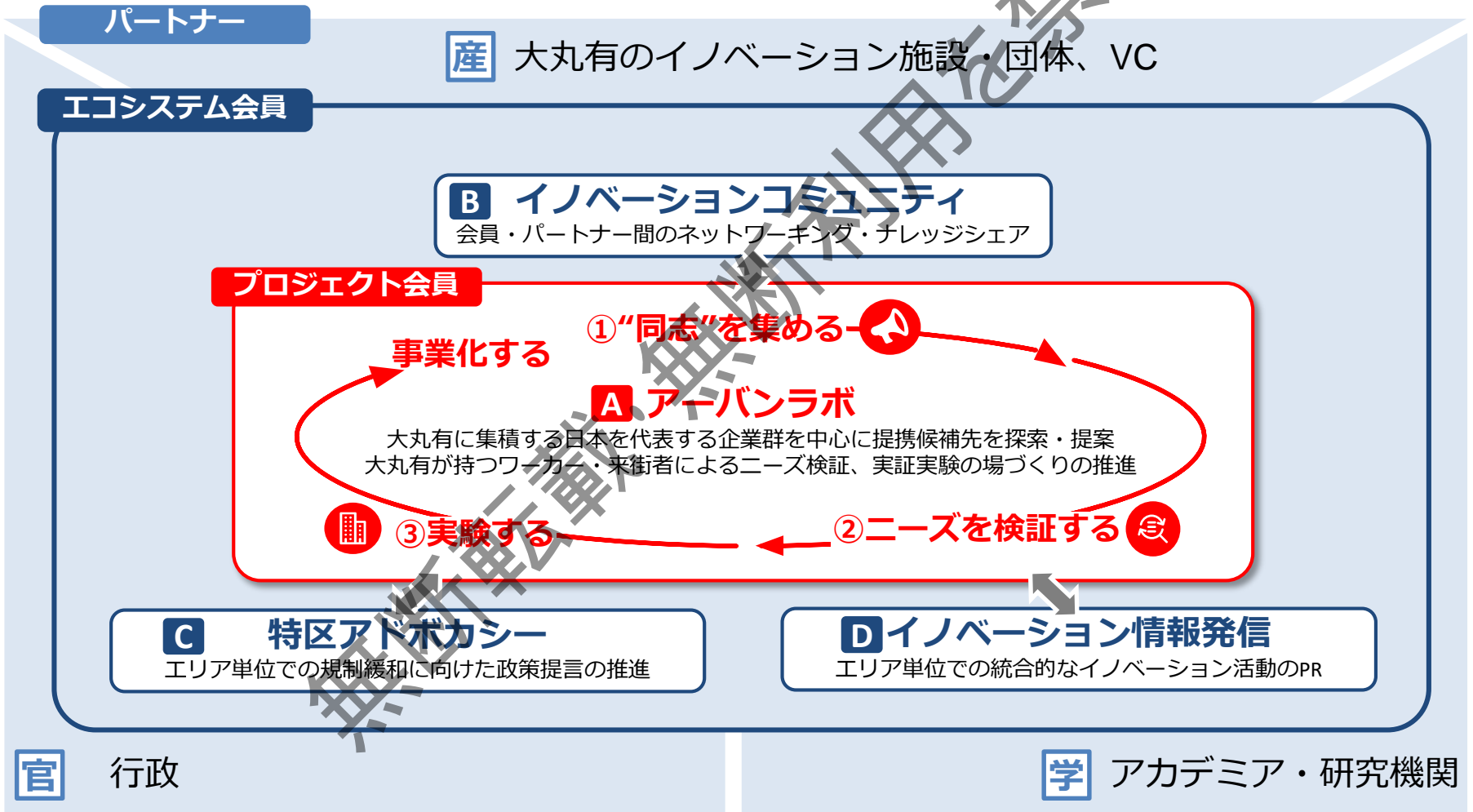
BeSTAを共同利用していることを活かし、活動成果を横展開

事業創発のプロフェッショナル
(事業創発メソッドを保有)

「豊洲の港から」を中心とした
世界規模のベンチャーネットワーク

■ Tokyo Marunouchi Innovation Platform (仮称)

- 2019年秋活動開始予定 (2018年度検討会実施)
- 大企業×大企業×αのチームアップと、街のアセットを活用した実験による「アーバンラボ」を提供
- エリア内外の産官学のパートナーと繋がるプラットフォームとしてイノベーション創発を支援



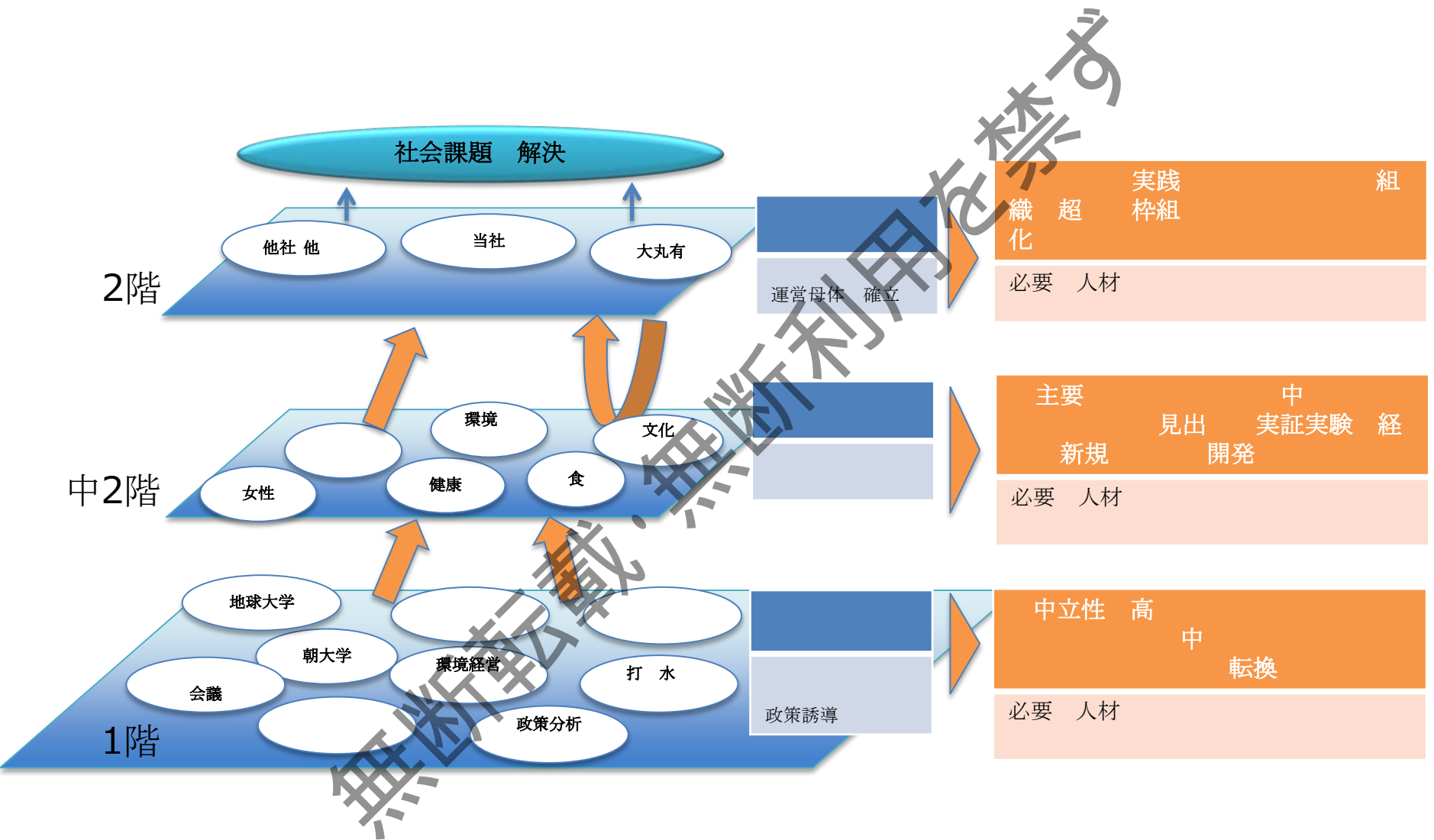
新たな時代に向けて

無断転載・無断利用を禁ず

■ ビジネスにおける価値観の変化

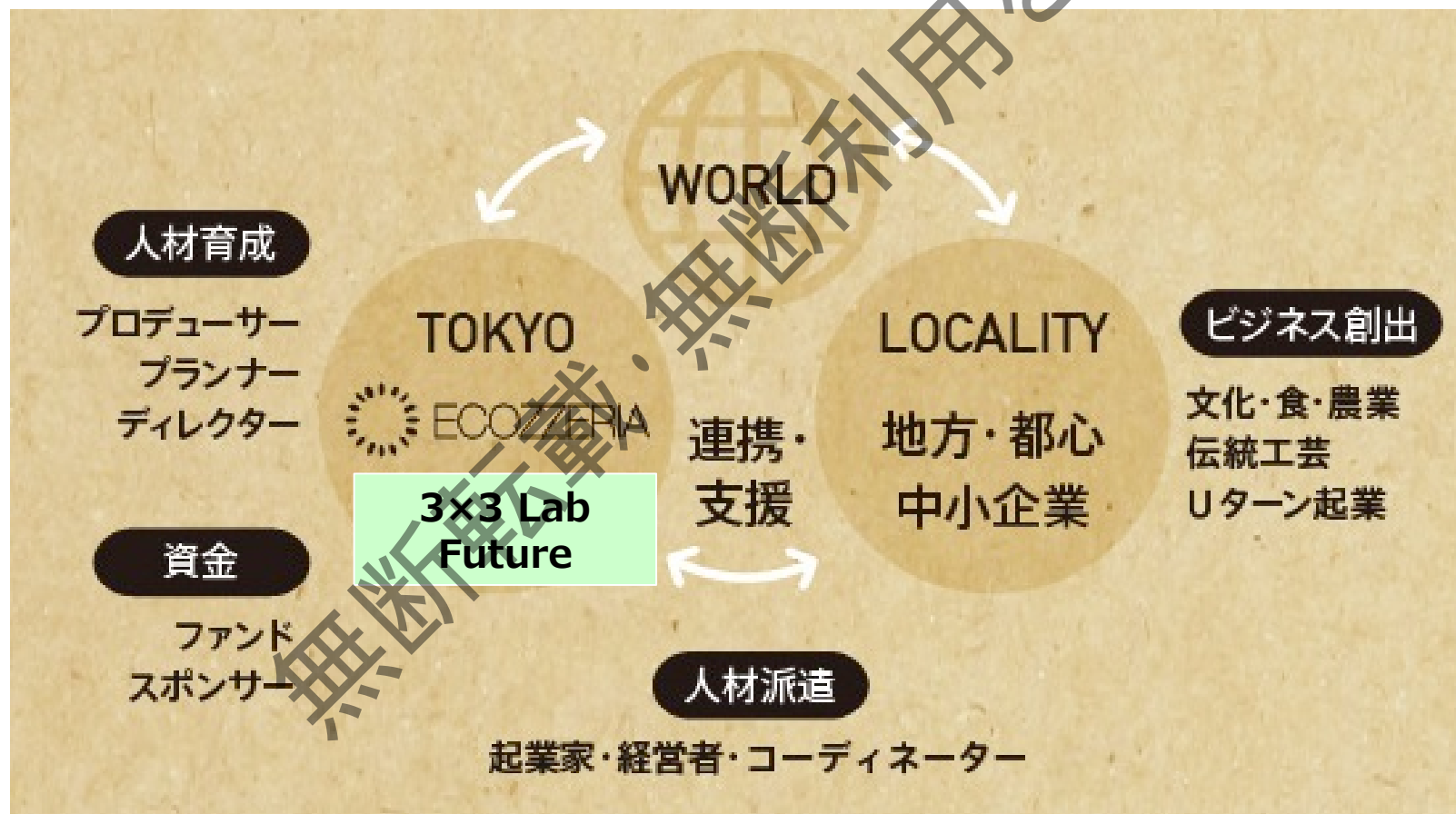
	今まで	これから
業務目標	どれだけ売れるのか	社会課題を解決できるのか
地域性	ローカルからグローバル化	グローバルからローカル化
共通概念	シェアNo.1	三方良し
アセット	自己の強みを活かす	パートナー (ソーシャル・キャピタル)
経済状態	右肩上がり	経済停滞
方向性	上に向かって	360度(自由)
他者との関係	競争優位	共有、共創

■今後の展開 -オープンイノベーション創出に向けて-



■ 3×3Lab Futureの活動と役割

1. 東京と地域との連携、地域でのビジネス創出への支援
2. 地域と地域との連携のハブ役
3. 「サードプレイス」運用ノウハウの展開（立上げ支援）



ありがとうございました。

無断転載・無断利用を禁ず